



学校だより 4月

平成30年4月5日 横浜市立芹が谷南小学校

笑顔いっぱいのスタートを

学校長 高木篤子



「よく晴れた日には、校庭から富士山が見えますよ。」
着任した日に職員が教えてくれました。校歌の歌詞「緑やさしい野の風に夢がふくらむ丘の上」にある芹が谷南小学校。私は、このたび校長を拝命いたしました高木篤子と申します。本校のよさを生かし、新たな伝統を1ページずつ創っていくよう、職員一丸となって精一杯努力する所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成30年度、本校は53名の新入生を迎え、全校児童341名でスタートしました。春の光に包まれた中、ご入学・ご進級おめでとうございます。

「笑顔いっぱい やさしさいっぱい 芹が谷大好き みんな生き生き芹南っ子」

この教育目標を子ども姿で具現化するために、まず、「笑顔いっぱい」のスタートを大切にしたいと思ひます。「おはよう」と笑顔で登校し、明るい笑顔で友達とふれあう子どもたち。温かい笑顔で子どもたちを支える職員。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、いつもの笑顔で子どもたちに安心感を与えていただければ幸いです。

「幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになる」NHKドラマの中での言葉が印象的でした。学校で、このまちで、笑顔いっぱい、やさしさいっぱいのふれあいを期待しています。

子どもたちが豊かに人と関わりながら、一人一人の笑顔が輝くよう、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、引き続きご支援ご協力いただけますよう、お願ひ申し上げます。



正門横の御衣更桜の柔らかな緑色の花が開きました。花の色は徐々に薄いピンク色に変わりはじめ、春の風に揺れています。